

雪を見るたび来たくなる

第43回 只見ふるさとの

雪まつり

只見町最大のイベント「只見ふるさとの雪まつり」を2月14、15日の2日間にわたりJR只見駅前広場で開催しました。今年は例年よりも積雪量が多く、雪まつり初日は大雪となりましたが、天候は徐々に回復し、2日目には青空も顔をのぞかせ期間中昨年を5千人上回る2万8千人の方にお越しいただきました。

今年の大雪像は東京駅開業100周年に合わせ、只見線の早期全線復旧も願い雪まつり史上最大の大きさ（高さ15m幅40m）で「東京駅」を作製しました。

この大きなステージで2日間様々なイベントが行われ、雪に負けない只見らしい雪まつりを今年も開催することができました。







- ❶ 開会式後に披露された「梁取太々神楽」。写真は魔よけの神様である鍾馗(しょうき)様。
- ❷ 威勢の良い声が響いた雪中大神輿。
- ❸ 会場を沸かせた研ナオコさんと娘のひとみさんのライブステージ。
- ❹ 自衛隊音楽隊によるパレードで始まった雪まつり。
- ❺ 厄払いの儀のクライマックス! 松明を持った厄男衆がおんべに点火!!
- ❻ 太鼓を叩くと雪が舞った天領只見仙嶽太鼓の演奏。

雪まつり初日は、開会式から最後のおめでた祈願花火大会まで1日中雪が降り続く中での開催となりましたが、町内各団体による郷土芸能発表会、研ナオコさんとひとみさんのライブステージに只見の雪まつりではお馴染みの「あつけらかん」による楽しいショー、長靴とばし・雪玉ストラックアウトなど次々にイベントが行われ、悪天候の中も楽しめた1日となりました。

2月14日



2月15日

2日目は天候も回復し青空のもとで雪まつりを開催することができました。途中突風が吹き何も見えなくなることもありましたが、これも只見の雪まつりと来場者は楽しんでるようでした。

この日は「電撃ネットワーク」のパフォーマンスショーに「ぺんぎんナッツ」のお笑いショーなどが行われ、最後に最高の天候のなか祈願花火大会を行い今年の雪まつりは幕を閉じました。



7只見高校、南会津高校の生徒たちが企画した「郷土料理コンテスト」試食会には人だかりが！ 8熱かった電撃ネットワークのパフォーマンスショー!! 9ブナりんもこの1年で子ども人気が定着。 10昨年のヒット曲などが披露された只見音研歌謡ショー。 11最近では貴重になってきた数え年6歳の子も達が書いた只見の風習「火の用心」も会場に！ 122日目は天候に恵まれ綺麗な花火が打ち上がりました!!

